

瀬戸内の環境を守る連絡会結成のために

わたしたちは、瀬戸内のそれぞれの地域で、公害に反対し、良好な環境をとりもどすための運動にとりくんできました。にもかかわらず、公害は一層広範囲に及び、しかも激化しています。大企業本位の「地域開発」の中心地域とされている瀬戸内は、公害のうつぼと化し、今や瀬戸内海は死に絶えようとしています。

わたしたちは、瀬戸内の海が青く、空は澄み、明るい太陽の光に満ちあふれ、豊かな自然の資源が守られることを望みます。そして、なによりも、人間の命と健康とが尊重される環境であることを強く求めます。

わたしたちは、日本科学者会議の「瀬戸内シンポジウム」を通じて、これが瀬戸内住民の共通の願いであることを知りました。環境を破壊する勢力がいかに巨大であろうとも、この願いは、人間としてあまりにも当然であり、ともに手をにぎり、力を合わせるならば、必ず実現できるとの確信をもつことができました。

わたしたちは、地域住民と科学者とを含めた「瀬戸内の環境を守る連絡会」の結成を決意いたします。瀬戸内の現状をうれい、良好な環境を願う心ある多くの人びとの参加を切に期待します。

一九七二年一月一六日

瀬戸内シンポジウムを終るにあたって、

瀬戸内の環境を守る連絡会準備会